



最上エコポリス通信

— mogami ecopolis tsushin —

2020年3月号
山形県最上総合支庁



地域一体で取り組む教育の全国モデルに



2月12日、新庄市民プラザ大ホールにて、新庄・最上ジモト大学フォーラムを開催しました。これは新庄・最上ジモト大学推進コンソーシアムが主催し、最上管内の全ての高校が共催して開催したものです。120名（うち39名が高校生）を超える参加者を前に、来賓の文部科学省初等中等教育局 視学官 高等学校改革推進室長 安彦広斉氏から「ジモト大学のように地域一体となった取組みがこれからの高校教育には必要。全国のモデルとなるよう頑張ってください」と激励のあいさつをいただきました。

第一部の基調講演では、東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科 岡崎エミ准教授が「これからの社会に求められる能力は探究活動から得ることができる。その資源はジモト大学のプログラムをはじめとする地域であり、地域こそ学びのフィールドである」と高校生に熱く語りました。第二部は、地域連携を基にした取組みや探究事例について高校生から4つの発表があり、第三部は「ジモト大学のプログラムを考える」と題したワークショップを行いました。各テーブルで高校生がファシリテーターとしてデビューし、地域の大人との対話を進行し、意見を取りまとめました。今後も地域の期待に応えられるよう取組みを推進してまいります。
[連携支援室 29-1238]



農業を職業の選択肢の一つに！

2月14日、新庄神室産業高校において、生物生産科と生物環境科の1年生47名と、最上地域で意欲的に農業に取り組む5名の若手農業者・女性農業者の皆さんが意見交換会を行いました。若手農業者の皆さんは就農のきっかけや各自が実践する農業を紹介し、農業のやりがいや魅力を語りました。高校生たちの「農業は重労働で大変では？」「仕事は朝何時から夜何時までですか？」「収入はどの位ですか？」などの率直な疑問に、自らの経験や農業への思いを具体的に紹介しながら丁寧に答え、高校生たちは身を乗り出して聞き入っていました。



実施後のアンケートには「やり方次第で楽しく仕事ができそう」「あまり良いイメージはなかったが、自分のやりたいことが農業を通してできるところに魅力を感じた」などの回答が多数見られ、地域で生き生きと活躍する若手農業者の皆さんの熱意で、農業への興味・関心が高まり、高校生が抱いていた農業のイメージがプラスに変化したことがわかりました。

農業を職業の選択肢の一つに！ 県では若手農業者を確保し、もがみの農業を元気にする取組みを進めてまいります。

[農業技術普及課 29-1322]

名付けて「やまがた雪やさい」！

最上管内では、新庄市内の直売施設や金山町内の農業法人等が熱心に雪中貯蔵野菜に取り組んでいます。JA全農山形やJAおいしいもがみが中心となり、雪の下や雪室状態で保存し、雑味や青臭さが抜けて甘みが強く感じられるように仕上げた野菜を「やまがた雪やさい」と総称しブランド化を進めています。

JA生産部会（佐藤久和部会長）では、メンバー22人が1月中旬から2月中旬までキャベツやハクサイ等4品目を出荷しました。夏秋期の栽培管理や少雪の対応に苦労しましたが、生産者は雪国の特徴を活かした「やまがた雪やさい」に大きな期待を寄せています。

県は今後も生産拡大をサポートしてまいります。



[農業技術普及課 29-1332]

新社会人生活に向けて

2月7日、就職予定の高校3年生を対象に、プレルーキーズカレッジを開催しました。

新庄中核工業団地の青年部会の若手社員の皆さんにご協力いただき、新社会人生活に向けて不安に感じていることへのアドバイスや、就職1年目の体験談などお話しいただきました。

参加者からは、「気持ち楽になった」、「4月から頑張りたい」といった感想が聞かれ、春からの新社会人生活に向けて気持ちを新たにした生徒の笑顔が印象的でした。

[地域産業経済課
29-1309]



「地域同期会」づくり

第3回MOGAMIルーキーズカレッジ!!

2月20日、第3回MOGAMIルーキーズカレッジを開催し、地元事業所の若手社員29名が参加しました。今回は「誰もが働きやすい職場づくり」をテーマに、グループに分かれ、課題設定から解決策の検討、プレゼンまでの一連のプロセスを学びました。どのグループからも、「コミュニケーションが大切」という視点からの提案がなされました。

1年間の学びを通して、会社や業種の枠を超えた「地域同期」のつながりが生まれ、皆さん生き生きと交流している姿が印象的でした。



若者が生き生きと働き、活躍する地域を目指し、来年度も引き続きルーキーズカレッジを開催してまいります。

[地域産業経済課 29-1309]

未来に伝えたい、最上小国川の魅力

最上小国川清流未来振興機構では、最上小国川の大切さを再認識し、未来に伝える機運の醸成のため、「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに「第4回最上小国川写真コンテスト」を開催しました。

2月号に続き、入選作品を紹介します。入賞作品は最上小国川清流未来振興機構専用ホームページ等へ掲載しているほか、今後作品の巡回展示の開催、印刷物等で活用し、広く情報発信してまいります。



「白川の春」戸塚喜八さん（新庄市）



「鮎の里春景色」太田稔さん（最上町）



「小国川大好き♡」
吉田雄翔さん（盛岡市）



「お見事!」
早坂武弘さん（尾花沢市）

全入賞作品
はコチラ



[連携支援室
29-1240]

美しい最上地域のために

2月20日、最上総合支庁講堂において、地域で道路・河川の環境美化に取り組んでいる団体の方々の出席をいただき、山形県ふれあいの道路愛護事業活動報告会並びに山形県ふるさとの川愛護活動支援事業相互交流会を開催しました。

事業のしくみ、県全体の状況説明のあと、地域において、県が管理する道路・河川の環境美化等に積極的に取り組む団体の活動発表と情報交換を行いました。たくさんの観光客からも賞賛されている活動を通じて、地域内の交流が深化しているなどの報告がありました。また、構成員の高齢化、活動参加人員の確保などの課題も提出されました。

県では、これからも団体と協同して道路・河川の維持と管理に努めてまいります。

[建設総務課 29-1376]

mogami ecopolis P.2



新型コロナウイルスについて

● 予防法

風邪や季節性インフルエンザ対策と同様、こまめな手洗いやアルコール製剤等による手指消毒、咳エチケットの励行などの実施が重要です。

● 相談窓口（最上地域）

最上保健所地域保健福祉課

【平日日中】 29-1268

【休日や時間外】 29-1300

* 厚生労働省フリーダイヤル
0120-565653（9～21時）

大雨災害からの早期復旧・防災対策

【建設部】

被災した河川 276 箇所、道路 49 箇所のうち、94%が 2 月末時点で完了または施工中となっており、残る箇所も順次発注の準備を進めています。洪水による浸水被害があった戸沢村蔵岡地区では、角間沢川の河川改修事業として、集落を堤防で取り囲む「輪中堤」の計画を進めており、来年度秋から着工し令和 3 年度末の完成を目指しております。



絹出川（最上町本城）復旧状況

【農村計画課】

国の補助を受けた農地・農業用施設の災害復旧工事では、156 箇所のうち 12 箇所を除いた 92%が年度内に工事を完了する予定です。また、県単独補助事業では、1,768 箇所のうち 97%が工事を完了する予定です。



【森林整備課】

国の補助を受けた災害復旧事業では、林地被害（治山事業）で 8 箇所、林道被害（林道事業）で 13 箇所の復旧工事を実施し、治山事業の 1 箇所を除き、20 箇所ですべて工事が完了しました。



◆ 早期復旧に向け引き続きご理解とご協力よろしく申し上げます。◆

高速道路網整備を活かした最上地域の発展に向けた取組み

2 月 6 日、東北地方整備局から東北中央自動車道や新庄酒田道路などの開通見通しが発表されました。最上地域と隣接地域をつなぐ高速道路、地域高規格道路のネットワークの完成も間もなくです。

2 月 21 日、最上総合支庁講堂にて、もがみ創生『北のゲートウェイプロジェクト』

検討会第 2 回施設整備等に関する分科会が開催されました。最上地域 8 市町村の副市町村長等が出席し、観光情報発信機能など前回の施設イメージをさらに掘り下げて意見を交わしました。

今年度は、もがみ創生『北のゲートウェイプロジェクト』検討会を計 4 回、分科会を計 2 回開催し、ゲートウェイ型道の駅について議論を深めてまいりました。高速道路等の効果を地域全体の発展にしっかりつなげるため、今後も早期の具体化に向けた検討を進めてまいります。

東北中央自動車道

新庄北 IC ～昭和 IC	令和 4 年度予定
昭和 IC ～金山 IC	令和 7 年度予定
東根北 IC ～大石田村山 IC	令和 4 年予定

<最上管内の開通見通し>

新庄酒田道路

新庄古口道路	令和 4 年度予定
高屋道路	令和 6 年度予定



若者定着・人材確保に向けた取組み

2 月 25 日、第 2 回オールもがみ若者定着・人材確保推進会議を開催し、経済界や行政機関、教育機関など約 60 名の方にご参加いただきました。今年度、地域一丸で積極的に事業を展開した結果、今春の管内高卒者の県内就職希望状況が 7 割を超える成果につながった報告と、来年度の事業計画について共有しました。また、作成を進めてきた企業向けインターンシップガイドブックの活用について意見交換を行いました。

大正大学地域構想研究所専任講師の山中昌幸氏から、「企業が成長するインターンシップとは」と題してご講演いただいた後、(株)サニックスの佐藤啓代表取締役社長、(有)大沼産業の大沼寿彦代表取締役、NPO もがみの沼野慈理理事長によるパネルディスカッションを行いました。地域で取り組んでいるインターンシップなどを通じて、職業観の育成のみならず社員や企業の成長にもつなげている事例を発表いただき、これらが若者の地元愛着や定着に大切な取組みであることを知ることができました。

各団体が事業を単独に実施するのではなく、小中高大と子どもの成長段階を意識して有機的に連動した事業展開となるように、インターンシップガイドブックを活用したモデル事業や、地域企業の認知度を高める課題に対応した若手社員向けの PR 研修を強化するなど、来年度も取組みを充実させてまいります。若者が生き生きと暮らせる躍動感のある地域となるよう、引き続きオールもがみで地域一丸となって取り組んでまいりましょう。





もがみ雛めぐり2020

享保雛や新庄藩ゆかりのおひな様や道具類などが展示されます。

【新庄市】

新庄ふるさと歴史センター
2/15 (土) ~ 4/6 (月) ※休館日有
とまれや旅館
3/27 (金) ~ 4/3 (金)
深田菓子舗
3/下旬 ~ 4/3 (金)
新庄まちなかひなめぐり
3/27 (金) ~ 4/3 (金)

【最上町】

瀬見ひな祭り
3/29 (日) ~ 4/5 (日)
※4/5 は午前中のみ

【鮭川村】

羽根沢温泉雛めぐり
3/3 (火) ~ 4/3 (金)

【戸沢村】

角川里山カフェすっぺ家
2/29(土)~4/5(日)

【大蔵村】

三春屋旅館
3月上旬~4/13(金)

【舟形町】

舟形若あゆ温泉
2/13(木)~3/10(火)

【金山町】

金山まちなか雛めぐり
4/3 (金)
マルコの蔵
3月中旬~4月上旬
お休み処「一福や」<雛膳>
4/1 (水) ~ 4/3 (金)
カネカ蔵カフェ<雛膳>
4/3 (金) ~ 4/5 (日)

【真室川町】

差首鍋地区生涯学習センター
「まざれや」
3/1 (日) ~ 4/12 (日)
休館日：月・木曜日
まむろ川温泉 梅里苑
2/28 (金) ~ 3/20 (金)



[観光振興室 29-1312]



チラシ電子版は
こちら



《最上管内献血日程》3月分

- 3月16日(月) 戸沢村役場 (戸沢村)
 - 3月27日(金) ゆめりあ (新庄市)
- ※詳細な時間等は保健企画課へお問い合わせください。



病気やけがなどで輸血を必要としている患者さんの尊い生命を救うため、皆様のご協力をお願いします！！

[保健企画課 29-1258]

3月は「自殺対策強化月間」です。

3月は自殺で亡くなる方の数が最も多い月です。(H30年、R1年警察庁 自殺統計より)
あなた自身やあなたの周りに自殺を考えるほどつらい気持ちを抱えている方はいませんか？
ひとりで悩まずにぜひご相談ください。

● ご相談は・・・地域保健福祉課 29-1266

いつもと違うと
気づいたら…

- ・じっくり耳を傾ける
- ・支援先につなぐ
- ・温かく見守る

発行日：令和2年3月1日

発行元：山形県最上総合支庁総務企画部総務課

総合案内窓口

電話：0233-29-1360 FAX：0233-23-2605



Twitter



HP

新庄ふるさと歴史センターで展示されている享保雛。大きさが70cmもあって、繊細な細工もよく見えるよ☆ぜひ見に行ってみてね～！

